

令和3年5月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,519	8,745	4,434	4,311	22	23
2 千 石	4,055	6,718	3,384	3,334	10	△ 5
3 内 山	5,864	7,976	4,227	3,749	33	23
4 大 和	3,498	6,709	3,314	3,395	58	91
5 上 野	7,481	15,552	7,701	7,851	110	142
6 高 見	7,422	13,344	6,365	6,979	7	△ 1
7 春 岡	7,155	11,183	5,810	5,373	56	58
8 田 代	11,582	21,871	10,540	11,331	42	65
9 東 山	10,534	19,407	9,571	9,836	83	96
10 見 付	4,399	8,145	4,135	4,010	26	55
11 星 ケ 丘	3,585	6,916	3,128	3,788	31	47
12 自 由 ケ 丘	3,576	7,194	3,285	3,909	5	14
13 富 士 見 台	6,501	15,262	7,063	8,199	△ 8	△ 15
14 宮 根	3,889	8,139	3,851	4,288	3	1
15 千 代 田 橋	3,761	8,431	3,957	4,474	13	5
千 種 区 計	88,821	165,592	80,765	84,827	491	599
R2. 5. 1	88,332	166,056	81,090	84,966	604	773
対 前 年 比	489	△ 464	△ 325	△ 139	△ 113	△ 174
名 古 屋 市	1,134,719	2,323,643	1,146,067	1,177,576	3,163	2,924
愛 知 県 (R3. 4. 1)	3,282,266	7,521,192	3,759,386	3,761,806	8,449	△ 9,791

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	98	133	△ 35	2,045	1,411	634

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区の世帯数と人口増減の概況

令和3年5月1日現在の千種区の世帯数は前月比491世帯増の88,821世帯となっており、人口は前月比599人増の165,592人となっています。今回は千種区の世帯数と人口増減の内訳を学区単位で見えていきます。

令和2年10月現在の千種区の学区別世帯数は、多い方から田代学区（11,560世帯）、東山学区（10,468世帯）、上野学区（7,413世帯）となっています。世帯増加率（対平成23年10月比）を見てみると、千種区全体では8.7%で名古屋市全体（10.5%）を下回っています。千種区の学区別世帯増加率を大きい順に並べると、千石、内山、高見、春岡、千種、東山学区の順になります（図1）。

また、令和2年10月現在の千種区の学区別人口数は、多い方から田代学区（21,914人）、東山学区（19,512人）、上野学区（15,517人）となっています。人口増加率（対平成23年10月比）を見てみると、千種区全体では3.0%で名古屋市全体（2.8%）を上回っています。千種区の学区別人口増加率を大きい順に並べると、内山（+13.5%）、高見（+9.4%）、春岡（+8.9%）、東山（+6.5%）、千種（+5.2%）、田代（+4.1%）、千石（+3.1%）、星ヶ丘（+3.1%）、自由ヶ丘（+2.7%）学区の順となっています。

図1：千種区の学区別世帯増加率上位6学区（対平成23年比） 各年10月1日現在

